

～・新しい風・～

「メディアネットワークセンター」誕生

本年（2005年）9月に成城大学の新しい“顔”として「大学8号館」が竣工し、そこに新しく「メディアネットワークセンター」が10月に誕生しました。そのセンター長に就任された篠原光伸教授（社会イノベーション学部）にお話を伺いました。

さっそくですが、「メディアネットワークセンター」開設のいきさつを含めて、センターの概要についてお伺いしたいのですが…。

成城大学は現在、『成城大学イノベーション・プロジェクト2006』という名称の全学規模での改革プログラムを推進しているところですが、そこでは教育環境の整備ということで、今年9月に竣工した8号館の新築と現3号館を新たに8階建の総合教育研究棟に建て替える計画とが含まれています。8号館建設にあたっては、どのような機能をこの新しい建物に持たせるのかということで検討がなされました。そこででた結論が、語学教育や情報教育はもちろんのこと、マルチメディアやITを活用した多彩な授業ができ、また教育コンテンツを自ら作成しその発信基地となりうる教育施設というものでした。インテリジェント・ビルを進化させたものをイメージしてもらえばいいと思います。この8号館の新しい諸機能と大学の教育系、研究系、事務系という3つの情報ネットワークを管理・運営する組織として生まれたのが、メディアネットワークセンターです。ですからメディアネットワークセンターの「メディア」とは、授業の種類に関わらず多様な教育手段を提供するという意味を含めて付けられたものなのです。

ご承知のようにこのメディアネットワークセンターの前身は、語学教育を支援してきたLLセンターと情報教育を支援してきた情報センターの2つです。組織的にはこの2つのセンターが1つになって新たな組織となったわけですが、支援する業務内容は1+1の2倍ではなく、従来の数倍になっていると思います。一般に2人が協力すると、1人で行うときの4倍の仕事が出来るといわれていますが、まさにそれを実践しているわけです。学生諸君からは、8号館1階にあるオープンルーム、PCセミナールームの管理、運営ということしか直接には眼に入らないと思いますが、機器の管理・運営については、地下1階、2階にある4つのCALL教室をはじめとして、2階にある3つのパソコン教室、遠隔講義システム等各種AV機器を設置した3階、4階の3教室もすべて当センターで行っています。また学生諸君の履修等を管理する教務システムであるキャンパス・スクエアの管理、そして教職員を使うネットワークおよびパソコンの支援も当センターで行っています。さらに当センターでは新たな業務として、教材作成の支援ということも考えています。このために新鋭設備を備えたスタジオと編集室を地下1階に造りました。現在その支援に必要なスキルについて検討しているところです。このようにメディアネットワークセンターは成城大学の「縁の下の力持ち」的な存在になっていると思います。

では、利用者である学生の立場からみて、どのような点が従来より改善されているのでしょうか？
具体的に、メディアネットワークセンターの「売り」を教えてください。

8号館での個人利用ということという先ず挙げられるのが、地下1階から1階まで吹き抜けとなっているラウンジです。ここは各自の持込んだパソコンが無線LANに接続できるようになっていますし、また空間としても開放感のあるスペースに造られています。1階のオープンルームでは友達同士で話しながらというわけにはなかなかいきませんが、ここでは全くその心配はありません。パソコンの画面を囲みながら議論することにより、新たな知的刺激が生まれてくると思います。

またオープンルームでも新しい試みをしています。1つは語学学習用のブースを設置したことです。数は5ブースと少ないですが、語学教育のIT化に対応した試みです。また従来、オープン利用できるのはウィンドウズ対応



メディアネットワークセンター長
篠原光伸 教授 (社会イノベーション学部)

パソコンだけでしたが、今回はマック（10台）もオープンルームに設置し、使用できるパソコンの多様化を図りました。画像系の処理についてマックには定評があり、ファンも結構いると聞いています。来年度から新しいパソコンの科目としてマックを使った授業も計画されているようですので、学生諸君にも十分に活用してもらいたいと思っています。また、オープンルームでのパソコン1台あたりのスペースを広く取りましたので、従来よりもゆったりした作業環境になっていると思います。その結果、パソコンの台数は少なくなりましたが、その分はPCセミナールームを弾力的運用をするということで現在は対処しています。

次に授業での利用という点では、最新設備のCALL教室が1室増えて2教室になったことが先ずあります。これらの教室に備えている設備は使い方によっては語学教育に限定されず、広く各種の教育にも活用が可能です。また今後パソコンを使った授業を行う先生方が増えることは眼に見えていますので、パソコン教室も2室増設し、さらに比較的規模の大きい一般授業向の3教室においても学生用無線LANのアクセスポイントを設置し、対応を図っています。なお2階、3階、4階の6教室間は遠隔講義システムで相互に結ばれており、互いの授業の送受信をも可能にしています。

最後に授業でのスタジオ、編集室の利用ということを現在考えています。もちろんこれらの施設は先生方による教材の作成ということを第一義に考えていますが、利用がなされていないときに授業として開放してもいいと考えています。この件については施設の弾力的運用ということの基本として、現在、細部について検討中です。

最後に、メディアネットワークセンターの今後の目標もしくは将来像について教えてください。

8号館への移転は9月下旬でしたが、この11月にメディアネットワークセンターの中核となるサーバー群の移転が完了し、ようやく安定運用ができる状態になったばかりですので、現時点では今ある設備・機器を十二分に使いこなせるようになることを先ずは目標としています。しかし長期目標もしくは将来像としては、前述した成城大学の「縁の下での力持ち」ということが考え方の基本になると思います。

メディアネットワークセンターでは、教育系、研究系、事務系という3つの情報ネットワークを管理しているわけですが、今後重視していかなければならないのは教育系での情報発信ということではないかと考えています。メディアネットワークセンターでは成城大学ホームページの管理ということも大きな業務の1つとしてあるわけですが、大学にとってホームページ等を通じての情報発信も重要な機能だと考えています。しかも研究成果の公表ということは当たり前で、重点は教育ということに移ってきていると考えています。

eラーニングという言葉も最近ではよく聞くようになりましたが、大学として発信できる教育コンテンツをどれだけ蓄積しているかということが大学の社会での評価を決定してくるのではないかと思います。ですから先ずは発信するための教育コンテンツを先生方が作るのを支援すること、これが今後最も重要になってくる業務だと考えています。このためのスキルアップということを常に考えていかなければならないと考えています。

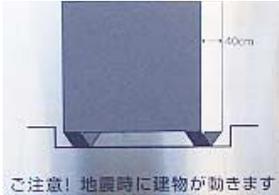
利用者の多種多様な要望や大学の将来像をイメージして、縁の下でさらに力をつけてくださろうとしていることがよくわかりました。今日はいろいろなお話をありがとうございました。

8号館の概要

10月1日にオープン。AV、マルチメディアを活用した多彩な授業やイベントが可能な教室群を備えた建物。授業収録システム、遠隔講義システム、最先端のCALL教室、大学独自の教材が作成可能な収録室、編集室。幅広い教育に利用できるPC教室や課外での学習を支えるオープンルーム。コミュニケーションスペースとしてのラウンジなど、ハイテク&ヒューマンな8号館です。



地上4階、地下2階



ご注意ください！地震時に建物が動きます
免震構造になっていて、「地震時に建物が動きます」



<p>3・4F</p>	 <p>後部座席用に、プラズマディスプレイを2組設置 遠隔講義システム、学生用無線LANアクセスポイント</p>	 <p>008教室は、8号館で一番大きな教室で、階段教室になっています。</p>
<p>2F</p>	<p>821、822、823教室</p>    <p>PC・インターネット活用授業向け教室</p>	<p>822教室</p> 
<p>1F</p>	<p>オープンルーム・PCセミナールーム</p>     <p>入室は「ピッ」と「Go」 学生証のバーコードを赤外線にかざす。信号が緑になったらバーをPush。 PCを自由に使えるオープンルーム。PCセミナールームは、PC利用のゼミナールーム。 Macも利用できるようになりました。</p>	
<p>B1F</p>	<p>804 (CALL教室)、収録室、編集室、資料室、ラウンジ</p>     <p>ラウンジでは、飲食も。 映像の撮影・収録、そして編集</p>    	
<p>B2F</p>	<p>801、802、803 (CALL教室) * CALL教室：Computer Assisted Language Learning マルチメディア授業支援システム、教師と学生の相互通信が可能な語学授業用の教室です。</p> 	

ラウンジでPCを使ってみよう！

～ 持ち込みノートパソコンでインターネットに接続する～

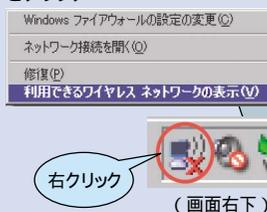
無線LAN 利用マニュアル

用意するもの

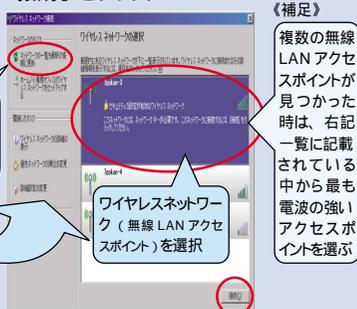
- ・メディアネットワークセンターが発行した「インターネットユーザID」
- ・「無線LAN(IEEE802.11a/b/g)」を搭載したパソコン

接続方法(Windows XP SP2の場合) 他OSや独自の無線LAN接続ソフトをご利用の場合はメディアネットワークセンタースタッフまでお問い合わせ下さい。

タスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンを右クリックして「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリック



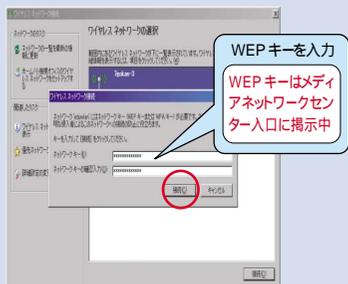
ワイヤレスネットワークを選んで「接続」をクリック



無線LANアクセスポイント一覧

- ・1号館学生ホール (8:00 ~ 20:00)
1gokan-1 1gokan-2
- ・7号館B1ラウンジ (8:00 ~ 11:00 / 13:00 ~ 20:00)
7gokan-1 7gokan-2 7gokan-3 7gokan-4
- ・8号館B1ラウンジ (8:00 ~ 20:00)
eduwlan
- ・5号館教室 (授業利用のみ)
5gokan-504 5gokan-53B

ネットワークキーの入力を求められたらWEPキー(パスワード)を入力



2回目以降は、WEPキー入力の必要はありません。

画面に「接続」と表示されたら初期設定完了続いてログイン作業へ...



ブラウザを起動



Internet Explorer Netscape など、何でもOK

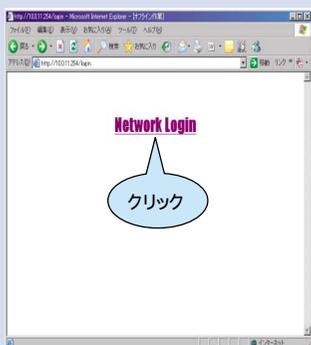
アドレス欄に以下のURLを入力



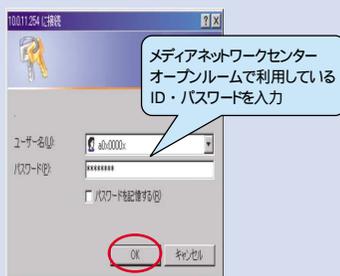
http://10.0.11.254/login

ブックマーク登録しておくとう便利です

「Network Login」をクリック



ユーザID・パスワードを入力



Hello " [ユーザID] " ! と表示され、20秒待つ大学のサイトに飛ばば接続完了!



学年末定期試験について

～一年間の勉強の成果が問われます～ 実力を発揮できるよう健康にも留意を～

実施期間：2006年1月17日（火）～30日（月）

試験時間割掲示日時および場所：1月10日（火）午前9時 / 1号館学生ホール内掲示板 《教務部》

試験に関する注意

～以下の注意事項をよく読み、各自健康管理に十分留意し試験に臨んで下さい。～

① 試験に関する連絡は、掲示で行います。

掲示したことは、学生諸君が全員知っていることとして扱われますので、常に1号館学生ホール内の掲示板を注意して見て下さい。

定期試験時間割は、ホームページでもパソコンから閲覧（携帯不可）できますが、あくまでも補助として利用して下さい。

時間割変更・試験の参照許可物などの情報は、学生ホール内の掲示板にて学部ごとに行います。

② 受験できる科目は、履修登録している授業科目のみです。

間違いのないよう、必ず各自、履修科目を「履修科目確認表」もしくはCampus Square for webの履修状況で確認して下さい。

③ 試験時間は原則として60分です。

科目によって、60分以外で実施されることがありますので、試験時間割表で必ず確認して下さい。

④ 試験場には定刻までに入室して下さい。

試験開始前に、説明・注意などがある場合がありますので、時間に余裕を持って入室するよう心がけて下さい。

遅刻者は、試験開始20分以降は入室を認めません。

また、試験開始後30分以内に退室することはできません。

定期試験時間割

1時限	9：15～10：15
2時限	10：30～11：30
3時限	11：45～12：45
4時限	13：30～14：30
5時限	14：45～15：45
6時限	16：00～17：00
7時限	17：15～18：15

⑤ 学生証は受験時も必ず携帯して下さい。

試験場では、本人であることが確認できるよう必ず学生証を机上に置いて下さい。

⑥ 机上に「着席不可」のシールが貼られた席には着席できません。

⑦ 携帯電話・PHS等は、必ず電源を切ってから入室して下さい。

学生証・筆記用具・持込許可参照物以外は、カバン等に収納して下さい。また、携帯電話を時計として代用することは禁止です。

⑧ 持ち込み参照物

(試験時間割と同時に、許可された科目を発表します)の、「ノート」については担当者により「自筆ノート」と指定される場合があります。また、「六法」については特別な指示がない限り、判例・解説付きのもの、書き込みがあるものは持ち込み禁止です。

⑨ 答案用紙の氏名欄および出席カードは原則としてペン書きです。

(鉛筆不可) 無記名の答案は無効です。

⑩ 答案用紙の試験場からの持ち出しは禁止です。

⑪ 不正行為をした者は学則により処罰されます。

試験が受けられなかった場合

不測の事故または病気などのために試験が受けられなかった場合には、「追試験受験願」を提出することができます。（「追試験受験願」提出資格を参照）

この願書は、学生部または就職部を経て、教務部学務課に提出しなければなりません。この手続きで受験資格が認められたことを受けて、教務部学務課が、授業科目担当者に追試験実施の有無を問い合わせ、追試験実施の回答のあった科目についてのみ試験を実施します。

「追試験受験願」提出要領

「追試験受験願」提出資格

欠席理由	必要書類など	経由部署
1. 病気およびケガ	診断書	学生部
2. 忌引	会葬礼状・死亡証明書等	学生部
3. 交通機関の遅れ	遅延証明書	学生部
4. 就職試験当日 (試験にかかわる資格試験も含む)	出席証明書：用紙は就職部で配布	就職部
5. その他	厚生補導委員会および教務委員会 会で正当と認められた事項	学生部

※病気などで、本人が受験願を提出できない場合は、代理人による提出を認めます。ただし代理人は「追試験受験願」「必要書類」と共に、委任状を教務部学務課に持参して下さい。

① 左記の提出資格を確認の上、必要書類を持って、経由部署に来室し、「追試験受験願」の用紙を、欠席した受験科目数分受け取って下さい。

② 受け取った用紙に、必要事項を記入の上、経由部署に提出し、承認印を受けて下さい。

③ 承認印を受けた「追試験受験願」を1月31日（火）16時30分までに教務部学務課に提出して下さい。

よくある質問 FAQ 1

「学生証を忘れてしまった！」
「でも、テストが始まってしまう！」
「どうしよう！」

すぐに、学生部にきて下さい。
受験許可証を発行します！

家を出るときに、学生証を確認しましょう。

よくある質問 FAQ 2

「電車が遅れて遅刻した！」

試験開始20分以内の遅刻なら、受験できます。それ以上の遅れになるようなら、受験できないので、最寄りの駅で、遅延証明書を必ず受け取って、追試験の手続きをして下さい。ただしバスやタクシーの場合、遅延証明書は発行されません。
時間の余裕を持って来て下さい。

よくある質問 FAQ 3

「寝坊して試験を受けそこねたんですけど…」
「時間割を間違えたんですけど…」
「追試験受をけられますか？」

駄目です！ 理由になりません。

そういうことが起こらないよう充分注意して下さい！
時間割や教室の変更がある場合もあるので、必ず掲示を自分の目でチェックしましょう！

よくある質問 FAQ 4

「六法にメモ書きをしてあるのですが…、消さないとカンニングになりますか？」

カンニングとみなされます。

その他、不許可参照物を、机の上に置いておくことも不正行為とみなされます。

必要のないものは、カバンの中にしまいましょう。

就職活動支援

動いた人にだけチャンスがやってくる就職活動。

「もう遅い」と決めてしまうのは時期尚早。常に積極的に動きましょう！

《就職部》

学部3年生・短期大学部専攻科へ進学される方へ

就職活動がまもなく本格的に始まりますが、準備は進んでいますか？

特に自己分析・筆記試験等の対策は、今のうちにとっておくとも今後の活動がスムーズにできるので、先延ばしにしないで早めに取り組みはじめることをお勧めします。

また、就職活動をする中では、なるべく視野を広げて多くの企業・業界を研究することをお勧めします。なぜならば、私たちの普段の生活の中では限られた企業・業種としか接触がないため、自ずと受験企業が、特定の範囲内に集中する傾向があります。しかし、社会にはたくさんの職業があり、皆さんが知らない世界にも魅力のある企業がたくさんあるからです。

知らない世界を知る方法として、インターネットは手軽で時間がかからない良い方法といえますが、直に体感する方法としては、積極的にOB・OG訪問をする、学内合同企業セミナーに参加するなど、多種多様な就職活動があります。

就職活動についてわからないことがあれば、気軽に就職部まで相談に来てください。

学部4年生・短期大学部2年生及び専攻科の方へ

平成17年度の就職活動支援の総括としては、国内に業績の回復が見られ、新卒採用数の減少傾向にも歯止めがかかり、あるいは増員計画と明るさも見られた年ではありました。しかし、企業の厳選採用方式は変化することなく、みなさんにとっては、厳しい就職活動だったのではないかと推察します。

その中で進路先が決定した方は、就職部に「就職先（進路先）内定届」を提出してください。就職先の内定決定者だけでなく、進学先（大学院、専門学校等）、留学、不就職等の進路が決まっている方も含まれます。既に進路が決まっているにもかかわらず、未提出の方は至急就職部に「就職先（進路先）内定届」を所定の用紙（窓口に常備）にて提出してください。皆さんの協力により得た貴重な就職情報は、今後の就職データとして後輩のために大切に活用させていただきます。

また、現在、就職活動を続けている方も焦らず、着実に進めてください。近年は通年採用を行っている企業は徐々にではありますが、増加の傾向にあり、学生にとってはメリットと言えます。自分が今後長期にわたり勤める会社ですから、十分に研究し、納得のいく就職活動を行ってください。インターネットを使っての就職活動も結構ですが、就職資料室には企業から求人が毎日届いています。ぜひ活用してください。

就職部の事務室等移転について

この9月より、就職部は、特別2号棟（中庭にある仮設建物）の1階に移転しました。相談等ご用の方は、こちらにお越しください。

就職資料室について

就職資料室では、就職活動中の学生諸君のために最新の求人情報（求人票、セミナー・説明会の掲示等）を公開しています。

また、パソコンも20台用意しています。是非とも足を運んでみてください。

開室時間

平日 8時30分～18時
土曜日 8時30分～13時

個人情報保護法について

平成17年4月に個人情報保護法が施行されました。これに伴い、OB・OG訪問等の就職活動に支障が与えることが予想されます。

就職部としては、施行後もスムーズな就職活動ができるよう、対応策を模索していきたいと思っておりますので、みなさんもお協力をお願いします。

学内合同企業セミナーについて

就職部では、平成18年1月31日から2月7日迄の6日間、7号館地階ラウンジを利用して、企業の学内合同企業セミナーを開催いたします。

今年度は午前・午後各20社ずつ6日間、幅広い業界より約240社にお越しいただきます。参加企業に関しては、年明けから就職部掲示板にて随時お知らせします。

内容としては、採用担当者が参加学生に個別に企業内容を説明し、また学生からは、会社の事業内容や具体的な仕事、社風や欲しい人材等についてなど、知りたいことわからないことを聞くことができる距離の近い面接形式のセミナーとなっています。

企業研究において、採用担当者から個別に話を聞けるチャンスは多くありません。また、この時期は、学外においても企業・業界合同の説明会は開催されていますが、他大学の学生も多数参加するため、ゆっくりと話を聞くことは難しいようです。過去の卒業生のなかにはこのセミナーで出会った企業に就職した方もいらっしゃいます。時間が許す限りなるべく多くの企業にふれ、参考にしてください。

このセミナーに参加する企業は、成城の学生を採用したいという意向をもっていることをご理解ください。

なお、参加希望者は当日、直接会場にお越しください。時間内での出入場は自由となっています。事前予約は必要ありません。

平成18年度学内資格講座開設について

就職部主催の学内講座も発足から5年目を迎えます。来年度もさらに工夫と改良を重ね、受講者の皆さんの希望が現実のものとなるよう、努力してゆく所存です。

学内講座の原則「学外の同水準のものより安く」
「可能な限り学習効果を追求」

は今後も変わりません！

平成18年度開講予定の講座

1. 公務員試験対策講座（国家Ⅱ種、地方上級向け）
2. 日商簿記3級・2級合格講座
3. 宅地建物取引主任試験対策講座
4. TOEIC対策セミナー
5. マスコミ就職対策講座

（ラインアップは変更の可能性があります）。

開講時期は、平成18年5月～6月前後の予定です。

詳細は、掲示・DM・ホームページ等でお知らせします。

具体的な就職活動の取り組み方 ～導入編～

「就職活動」この言葉に皆さんは、色々な思いや考えがあるのでしょうか。往々にしてこの言葉が独り歩きして、では具体的にどのように、何から始めればいいのかと悩んでいる方は少なくないと思います。

そこで就職部から皆さんに、就職活動の導入段階に着手したほうが望ましいと思うことを具体的に以下のとおり提案したいと思います。ぜひ参考にしてみてください。

<自分を知る・磨くこと>

まずは、スタートとして「自己分析をしながら自己PRを考える」「一般常識・SPI等筆記試験対策」の2つが挙げられます。この2つをコツコツと準備していくことによって、今後の活動がスムーズになるばかりでなく、焦らずに就職活動をしていくことができますので、先延ばしにせずに、早めに着手することをお勧めします。

そのうち、今回は「自己分析」について以下に具体的な方法を提示します。

【自己分析】

自己分析とは、その言葉のとおり「自分自身を知る」ことです。まずは、「2006就職ハンドブック」（就職ガイドランスで配付したブルーの冊子です）の28～29ページを参照のうえ、29ページの「自己分析シート」の設問について、実際にノート等を書いていく作業を進めてみてください。この作業は膨大な時間がかかりますが、やることによって、自分自身のことが段々見えてきます。

そして、併せてお勧めしたいのが、「自分史を作る」ことです。自分の記憶がある幼少時代から今までを振り返って、自分がどんなことに興味を持ち、どんなことをしてきたのかを出来る限り細かく書き出してみてください。そこに一貫した「今の自分を形成してきたヒント」が隠されているはずです。

以上、おおまかに「自己分析の仕方」を説明してきました。こういった作業に「正解」というものはありませんので、以上の事柄を参考にしつつ、アレンジしながら着手してみてください。

さあ、「自分自身を知り」「自己PRを作成する」旅に出ましょう。

就職情報の詳細はホームページに掲載

HPのトップページ「在学生」をクリック！

<http://www.seijo.ac.jp/>

平成17年度学部別主要内定企業

経済学部	
企業名	内定者数
みずほフィナンシャルグループ	6
日興コーディアル証券(株)	3
三井住友海上火災保険(株)	3
あいおい損害保険(株)	2
(株)アマナ	2
アメリカンファミリー生命保険会社	2
第一生命保険(相)	2
大日本印刷(株)	2
東京トヨペット(株)	2
平塚信用金庫	2
(株)ファミリーマート	2
(株)武蔵野銀行	2
明治製菓(株)	2
(株)横浜銀行	2
(株)りそなホールディングス	2
花王(株)	1
キヤノン(株)	1
キュービー(株)	1
全日本空輸(株)	1
野村證券(株)	1

文芸学部	
企業名	内定者数
みずほフィナンシャルグループ	10
(株)伊勢丹	3
(株)エイチ・アイ・エス	2
(株)ジェイティービートラベランド	2
東京海上日動火災保険(株)	2
(株)トゥモローランド	2
(株)日本航空インターナショナル	2
(株)長谷工アーベスト	2
(株)りそなホールディングス	2
(株)イトーヨーカドー	1
(株)ジェイティービー	1
(株)千葉銀行	1
(株)東急エージェンシー	1
(株)ニューオータニ	1
(株)ノエビア	1
東日本旅客鉄道(株)	1
三井物産(株)	1
(株)横浜銀行	1
(株)読売新聞東京本社	1
(株)和光	1

平成16年度主な進路先 (平成17年3月31日現在)

経済学部	
企業名	内定者数
(株)東京三菱銀行	7
三井住友海上火災保険(株)	5
(株)大塚商会	3
オリンパス(株)	3
東京海上日動火災保険(株)	3
東急リハビリ(株)	3
トステム(株)	3
みずほフィナンシャルグループ	3
(株)ユーエフジェイ銀行	3
城南信用金庫	2
(株)JALスカイ東京	2
住友信託銀行(株)	2
積水ハウス(株)	2
(株)東京都民銀行	2
NECソフト(株)	2
(株)ノーリツ	2
(株)ペルーナ	2
みずほインベスターズ証券(株)	2
三井ホーム(株)	2
ユーエフジェイつばさ証券(株)	2

文芸学部	
企業名	内定者数
ソフトバンクBB(株)	5
みずほフィナンシャルグループ	5
SMBCフレンド証券(株)	3
(株)東日本銀行	3
青山商事(株)	2
(株)ヴァンドームヤマダ	2
SBI証券(株)	2
(株)JALスカイ東京	2
(株)ジェイティービー	2
全日本空輸(株)	2
第一生命保険(相)	2
ダイキン工業(株)	2
東京海上日動あんしん生命保険(株)	2
(株)日比谷花壇	2
(株)フランドル	2
(株)三井住友銀行	2
(株)資生堂	1
(株)東京三菱銀行	1
(株)大和証券グループ本社	1
(株)ヤクルト本社	1

※内定者数については、平成17年11月25日現在、内定届を就職部に提出した数字を掲載しています。 《就職部》

法 学 部	
企業名	内定者数
みずほフィナンシャルグループ	5
SMBCフレンド証券(株)	2
第一生命保険 (相)	2
(株)横浜銀行	2
岡三証券(株)	1
(株)オリエンタルランド	1
川崎信用金庫	1
近畿日本ツーリスト(株)	1
(株)セガ	1
第一法規(株)	1
(株)大和証券グループ本社	1
田辺製菓(株)	1
(株)東京三菱銀行	1
戸田建設(株)	1
(株)中日新聞社	1
日本精工(株)	1
野村証券(株)	1
北海道テレビ放送(株)	1
マイクロソフト(株)	1
三井住友海上火災保険(株)	1

短期大学部 (専攻科含む)	
企業名	内定者数
みずほフィナンシャルグループ	3
川崎信用金庫	2
(株)三陽商会	2
城南信用金庫	2
東京電力(株)	2
三浦藤沢信用金庫	2
(株)八千代銀行	2
アルプス電気(株)	1
(株)伊勢丹アイガード	1
(株)オンワード樺山	1
第一生命保険 (相)	1
積水ハウス(株)	1
(株)ツツミ	1
東京信用保証協会	1
トヨタ自動車(株) 東京本社	1
日本空港ビルデング(株)	1
富士屋ホテル(株)	1
(株)三井住友銀行	1
日黒信用金庫	1
(株)メリーチョコレートカムパニー	1

法 学 部	
企業名	内定者数
みずほフィナンシャルグループ	3
(株)ユーエフジェイ銀行	3
(株)東京三菱銀行	2
(株)三井住友銀行	2
(株)三越	2
(株)伊勢丹	1
(株)京王百貨店	1
(株)ジェーシーピー	1
城南信用金庫	1
(株)セガ	1
(株)損害保険ジャパン	1
東海旅客鉄道(株)	1
東急リバブル(株)	1
日本通運(株)	1
日本マクドナルド(株)	1
野村証券(株)	1
(株)日比谷花壇	1
(株)ミキハウス	1
山九(株)	1
(株)横浜銀行	1

短期大学部 (専攻科含む)	
企業名	内定者数
城南信用金庫	5
(株)東京三菱銀行	4
(株)プリンスホテル	4
(株)三井住友銀行	3
三井不動産住宅リース(株)	3
(株)伊勢丹	2
(株)オンワード樺山	2
(株)マルイファッションナビ	2
小田急電鉄(株)	1
オリンパス(株)	1
(株)三陽商会	1
品川プリンスホテル	1
田中貴金属工業(株)	1
日本生命保険 (相)	1
日本通運(株)	1
野村不動産(株)	1
(株)菱食	1
富士フィルムグラフィックシステムズ(株)	1
(株)ユニカフェ	1
(株)横浜銀行	1

成城散歩 Vol.2

古代ギリシャの哲学者アリストテレスの学統に連なる人々は、逍遙すなわち散歩によって思索を深め、歴史に逍遙学派の名を残している。散歩は人を深い思索へと誘い、また人に思いがけない発見をもたらしてくれる。成城の先人達が「ふりにし松の語る」声に耳を傾け、その「黙示」を受けたのも多くは散歩の途上であったに違いない。その伝統は、今も初等学校「散歩の時間」に受け継がれている。「都のどよみよそにして友とえらびしこの自然」と校歌に謳われる成城の地は武蔵野の静寂を留め、四季折々の風情を楽しませてくれる。成城学園とともに発展してきた成城の街は永い歴史と文化を混えて、散歩には絶好の環境となっている。慌ただしい日常を離れて、しばし成城をめぐる散歩を心のままに楽しんでみよう。

教育研究所草創期

学生の皆さんにはなじみが薄いかも知れませんが、学生食堂の建物の3階に教育研究所があります。直接的には学園の教職員を対象に活動している組織なのですが、保護者の方々にも教育研究所で発行している雑誌『成城教育』の講読を募っていますし、成城学園の歴史資料を収集保存している研究所でもあります。少し教育研究所の紹介をいたしましょう。

学園の創立60周年(1977)を記念して発足しましたので、教育研究所の創立30周年も遠くありません。大学3号館と学生食堂の建物の間の、現在緑地になっている場所に、1932年に建てられた木造の二階建ての建物がありました。そもそもは旧制高校の「地歴館」と呼ばれる校舎だったのですが、戦後は法人の事務局棟として活用されていました。その2階の一室が創立当初の教育研究所でした。



1932年に建てられた旧制高校の「地歴館」

幼稚園から大学、大学院までを備えた成城学園の一貫教育を推進すること、と一口に言っても、「一貫教育とはなんぞや」「創立者澤柳政太郎の教育理想とは如何なるものか」「幼稚園から大学までの教員が兼任で所員を務める研究所にどのような活動が可能か」、発足前の設立準備委員会のときから、学園の同人(当時学園の教職員は互いに「同人」意識が濃厚でした)たちの熱い議論が繰りひろげられました。毎週木曜日、授業を終えてから、木造の古い階段を軋ませて登ってくる所員たちは、すでに高齢の方も混じていましたが、しかし成城の教育という話題になると、夜の更けるのも忘れてまさに侃侃諤諤の議論。教育研究所は学園の「梁山泊」だなどと陰口を言われたこともありました。

創立時の熱気いまだ失せていません。学園の教育ジャーナル、『成城教育』の年4回の発行、研究集会の開催、講演会の開催、学園教職員の研究助成、幼・初・中・高合同研究会の後援等々の活動に加えて、目下学園の90年史の編纂の仕事が始まったところです。

(成城学園教育研究所・青柳恵介)

サッカー部 「サッカーは好きですか？」

こんにちは、サッカー部です。サッカーと言えば、現在の世界で最も熱いスポーツの一つです。スポーツニュースでは、ワールドカップ、チャンピオンズリーグ、各国リーグの情報が流れていて、皆さんの中にも、ロナウジーニョ、ベッカム、中田…の華麗なプレイに心を奪われている人も数多くいると思います。

スーパースター達が繰り出す美技には遠く及ばないまでも、そこは成城大学サッカー部、約450gという小さなボールに魅せられて集まった人達ばかりです。サッカーに対する「情熱」では負けません。毎日の練習を楽しく、けれども厳しく行っています。

そして、その成果もあり、今年は東京都大学リーグ1部で第二位となり、関東大会に出場。その関東大会では、実に31年ぶりの関東リーグ復帰を目指したものの、1回戦で延長戦にまで纏れ込む熱戦の末、1-2で惜しくも敗退。

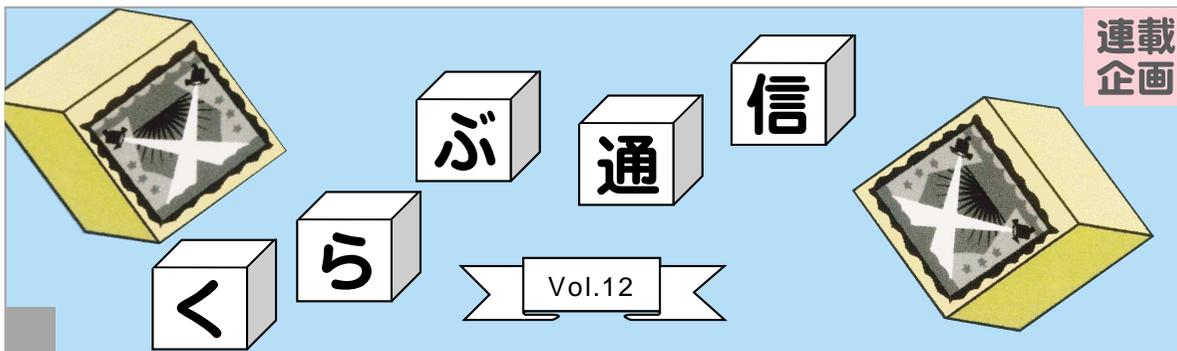
しかしながら、我々サッカー部はその悔しさを胸に、現在、スタッフ、部員、総勢31人で来年の「関東昇格」を目標に日々の練習に励んでおります。

このように、熱い部活ではありますが、「サッカーは好きですか?」「はい、大好きです。」と即答できるそのあなた、ぜひ一度グラウンドに練習を見学いらして下さい。お待ちしております。



関東大会出場！！

ピブス洗濯係：杉田孝爾（経1D）



ダンス部 「個性満載ダンス部です！」

こんにちは、総勢120名のダンス部です。120人いれば120人の個性があるので、やりたいダンスの種類がたくさんあるわけで、実際、ジャンルの合う部員同士がチームを組んで、ひとつのダンスを創り上げていきます。

ヒップホップ、ガールズ、ハウス、ブレイク、ロック、ポップ、ジャズ…、口に出してみると本当にたくさんあります。踊りや音楽の好みによって目指すものが違ってきます。というわけで、去年の学祭から1年間を振り返りつつ部活紹介を綴ります。

まず、12月の関東大学ダンス連盟主催のクリスマスパーティー。5分間の持ち時間の中で成城大学のダンス部の色を表現していきます。執行部交代後の初のイベントなので、何から手をつけていたら良いか混乱しましたが、4年生の手助けもあり、予想以上に良いショーになりました。3月のクラブで行う卒業公演、そして6月公演、段階を踏むごとにダンススキルやイベントの質などが上がり、お客さんやOBの方々から練習の成果をお見せすることができたと思います。白樺湖の夏合宿をさみ学祭へと進んで行くわけですが、学祭は引退公演でもあるので、自ずと創る段階から気持ちが入っていきます。本番の舞台では、感極まって涙を光らせながら踊る人もいました。

と、こんな感じで活動しています。練習日は火・木の16時半から5号館の地下で活動しています。興味のある方はいつでもお越し下さい。これからも成城大学ダンス部は発展していきます。新執行部に期待です！

最後になりましたが、成城大学ダンス部ZENITH5THの皆様お疲れ様でした！



後夜祭の後に3号館L教室にて
(3年執行部全員の記念写真)

H17年度ダンス部部长 二ノ宮 巧（経3D）

成城祭2005

11月1～3日成城祭開催！

本年度、大学祭では「Style」というキャッチフレーズを掲げ、一年間活動してきました。このキャッチフレーズには、「大学祭を作る側の個性と、お客様の個性を大切にし、双方が楽しめる大学祭に」との意味を込めました。当日は3日間晴天に恵まれ、延べ2万7千人の方に、足を運んでいただきました。

本年は、従来の中庭ステージを組めず、限られた場所でのイベントとなりましたが、昨年よりも楽しんでいただけるように、知恵を絞りながら活動してきました。本部イベントをはじめ、各参加団体の皆様の展示、発表、模擬店、すべてにおいて、団体の皆様の個性が光り、魅力的な大学祭を行なえたと委員一同感謝の気持ちでいっぱいであります。また、初めての試みになりました成城商店街のお店とのコラボレーション企画、「成城ミニ商店街」を行いました。成城ならではの、オシャレなお店が数多く出店してくださり、大盛況！！来場して下さったお客様も大満足とのお声を掛けていただきました。これからも、地域の方々と一緒に大学祭を盛り上げていければと、考えております。最後になりましたが、各参加団体の皆様、大学祭をサポートしていただいた大学職員の皆様に厚く御礼申し上げます。



大学祭実行委員会 委員長 渡辺 康一郎（経済学部3年）

前夜祭 11月1日（火）

本年度の大学祭に先駆けて、前夜祭が、11月1日に行われました。大学祭に出店して下さった各団体さんのPRを兼ねて、舞えや踊れやの大騒ぎ！ダンス部、応援団、空手道部の独自パフォーマンス、そして軽音楽部が祭りを盛り上げる演奏によりこれから始まる大学祭は幕をあげました。



イベント会場003教室前

音楽祭 11月2日（水）

2日目に行われた音楽祭は、003教室がライブハウスのような、熱気に包まれました。学内から選考された4バンドの演奏に観客も酔いしれました。また、最後を飾ったのは、外部バンドで昨年「Fuji Rock Festival」に出演された、Empty Black Boxによる演奏！お客さんと一体となり、最後にはアンコールでさらに盛り上がりました。きらびやかな照明の中でのライブは、より臨場感を生み、盛り上がったのではないのでしょうか。



音楽祭出演のEmpty Black Box

フリースペース 11月2、3日両日

今年、初の試みになった、フリースペース。今年解体されてしまう3号館前に特設野外ステージを建てました。例年のステージと比べ、小さなステージにはなりましたが、ギター1本で弾き語りをする人、大道芸人さんによる愉快的パフォーマンス。通行人の皆さんも足を止め、見入っていました。まさに中庭ステージが無い今年ならではのイベント！と思わせるようなステージでした。



主なイベント

11月1日

前夜祭

11月2日

音楽祭

東儀秀樹 単独LIVE
フリースペース
成城ミニ商店街
フリーマーケット
バルーンアート
クラブイベント

11月3日

ミスコン

YOUトークショー
ネイルアート
成城ミニ商店街
フリーマーケット
後夜祭

YOUトークショー 11月3日(木)

五十周年記念講堂で行われたYOUさんのトークショーに1300人以上の方が、来場してくださいました。テレビでは語られない、素のYOUさんに会場は笑いの渦でした。会場では、YOUさんへの質問コーナーや、最後にはプレゼントコーナーなど、楽しい時間を過ごしてもらえたのではないのでしょうか？来年も皆さんに楽しんでいただけるようなイベントを企画したいと考えております。



大学祭ができるまで

SEIJO FESTIVAL	1月	3月	6月	9月	10月	11月
2005 学園文化祭	●新体制スタート	●スローガン決定	●新歓活動	●代表者会議①	●代表者会議②	●代表者会議③
			●イベント概要決定	●イベント詳細確定	●パンフレット製作	●代表者会議④
					●装飾準備	●機イス大移動
					●1サール期間	●ステージ組み
					●イベントリハ	●大学祭当日

第56回 四大学運動競技大会



「総合3位復活！」

第56代 四大学運動競技大会 実行委員長

小宮山信吾

今年は、四大戦が成城大学で開催ということで、大会運営という大きな使命・責任の中スタートしていきましました。学内のほうでは、例年以上に力をいれ、正式・一般種目参加者の意識向上に努めてきました。まず、2月のリーダーズサミットから始まり、昨年初の試みであった壮行会を、今年は、正式・一般種目選手合同で盛大に行いました。一般種目強化対策として、伊勢原スポーツデイで優勝したチームに学内予選のシード権を与え、また本戦出場選手に、夏休み・休日の体育館・グラントを体連が提供しました。本戦の結果としては、男女バレーボールが優勝を収めました。残念ながら正式種目は、思うように点数が伸びませんが、本戦最終日に行われた駅伝大会では、午前に行われた女子は、総合2位。午後の男子では、成城Bのアンカー佐藤選手が、ゴール寸前で学習院大学を抜き、総合1位になることができました。この駅伝では、何人もの選手が区間賞をとる素晴らしい結果を収めました。

今大会では、4位を抜け出し、3位に復活することができました。来年以降、2位・1位を目指し、今年以上に正式・一般種目ともに、より意識向上・強化に努めていきたいと思ひます。最後になりましたが、今大会を運営するに当たりましてご協力くださいました諸先生、職員の方々にご心より御礼申し上げます。

一般種目得点表

	成城	学習院	成蹊	武蔵
硬式庭球D(男)	4	0	3	0
硬式庭球D(女)	0	3	4	0
硬式庭球(混)	2	4	3	0
サッカー	0	3	4	2
ソフトボール(男)	0	4	3	0
ソフトボール(女)	3	4	1	2
卓球(男)	3	4	2	0
卓球(女)	2	3.5	1	3.5
卓球(混)	0	4	2	3
軟式庭球(男)	0	2	3	4
軟式庭球(女)	2	3	0	4
軟式庭球(混)	0	2	4	3
軟式野球	2	4	3	1
バスケットボール(男)	3	0	4	0
バスケットボール(女)	2	3	4	1
バドミントン(男)	2	4	3	1
バドミントン(女)	3	4	1	2
バレーボール(男)	4	3	0	0
バレーボール(女)	4	2	0	3
合計	36	56.5	45	29.5
順位	3位	1位	2位	4位

総合得点表

	成城	学習院	成蹊	武蔵
総合得点	104.5	161	138.5	100.5
総合順位	3位	1位	2位	4位

正式種目得点表

	成城	学習院	成蹊	武蔵
アイスホッケー	2	2.5	1.5	1.5
アメリカンフットボール	2	4	1	3
駅伝(男)	4	3	1	2
駅伝(女)	3	1	2	4
弓道(男)	1	3	4	2
弓道(女)	2	4	3	1
剣道(男)	2	3	4	1
剣道(女)	2	4	3	1
硬式庭球(男)	3	4	2	1
硬式庭球(女)	2	3	4	1
硬式野球	3	3	1	3
ゴルフ	1.5	2.5	2	1.5
サッカー	—	—	—	—
自動車	1	4	3	2
柔道	1	2	4	3
水泳	1	4	3	2
水球	1.5	2	2.5	1.5
スキー(男)	2	3	4	1
スキー(女)	2.5	2	1.5	1.5
漕艇	1.5	2.5	2	1.5
卓球(男)	—	—	—	—
馬術	1.5	2.5	2	1.5
バスケットボール(男)	2	1	4	3
バスケットボール(女)	2	4	3	1
バドミントン(男)	3	2	4	1
バドミントン(女)	1	4	2	3
バレーボール(男)	1	3	2	4
バレーボール(女)	1	3	2	4
ハンドボール	1.5	2.5	2	1.5
フィギュアスケート	—	—	—	—
ホッケー(男)	1.5	2.5	1.5	2
ホッケー(女)	2	2.5	1.5	1.5
洋弓(男)	3	1	4	2
洋弓(女)	4	1	3	2
ヨット	2	4	3	1
ラクロス(男)	2	4	1	3
ラクロス(女)	1	4	3	2
ラグビー	1	3	4	2
陸上競技	1	4	3	2
合計	68.5	104.5	93.5	71
順位	4位	1位	2位	3位

得点について 1位：4点、2位：3点、3位：2点、4位：1点
 三大戦の場合… 1位：2.5点、2位：2点、3位：1.5点
 不出場校：1.5点(得点の背景が色付き表示)

教職員種目得点表

	成城	学習院	成蹊	武蔵
硬式庭球	3	4	1	2
ソフトボール	1	4	2	3
バレーボール	2	3	4	1
合計	6	11	7	6
順位	3位	1位	2位	3位

「勢い」に乗ってさらに上位を ～・文芸学部教授 古田尚輝～

「出目金」と「短足」

おぼろよ 朧夜に むんずと高む 翌檜 飯田龍太
あすなろう

この句を読むたびに、作者の真意はともあれ、私にはうえに向かってまっすくに伸びてゆく無限の可能性を秘めた学生諸君のことが思い浮かびます。私にとって四大戦はこの句の含意を味わう格好の機会でした。

私は長く放送局に勤め、教育の実績が全くないのに3年前に成城大学に採用されました。初めて経験する大学生活は興味が尽きず、四大戦には必ず参加して観戦しています。その理由はふたつ。第1は、家人から「出目金」と言われるほど好奇心が強くどこにでも出かける性分です。これに報道局勤務で染み付いた「現場第一」という感覚が輪をかけています。第2は、「短足」すなわち足が短いという有難くないあだ名を付けられていることです。これが劣等感となって、身体を鍛えることが習い性になっています。とは言っても生来運動神経が鈍く、水泳とゴルフをたしなむくらいですが、水泳はロシア極東地方の広大なアムール川で泳いだこと、ゴルフは一向に上達しないのにキャリアだけは30年以上あることをひそかに誇りにしています。

こうした「出目金」と「短足」がどう融合したのか、今年度から関東大学一部リーグ所属の女子グラウンド・ホッケー部の顧問を引き受けることとなりました。しかし、知識も経験もないので、それを補うため、何の役にも立たないのに成城大学が出場する試合の観戦にだけはせっせと出かけています。



手作りの横断幕…。大会スローガン「刻（とき）」がオレンジ色で刻まれている。



五十周年記念講堂で行われた開会式

“もう一步”から“やれば出来る”へ

これまで四大戦で成城大学のチームの試合を見るたびに、いつも「もう一步」という感じが拭いきれませんでした。「あそこで点を取ってれば」「もう少し押し込んでいけば」と悔いが残ることが多い観戦でした。そこには「才能はあるのに努力が足りない」「ガッツ不足」という成城大学生に関する一般的な評価が反映しているような気がしていました。

しかし、今年の四大戦で成城大学は見違えるように変身しました。そして、長らく甘んじてきた最下位から3位に躍り出ました。今年はバレーボール、バドミントン、駅伝、教職員ソフトボールの4種目を2日間観戦しましたが、バレーボールの試合にはとりわけ興奮しました。男子も女子もみんな敏捷で気合に溢れ見事な試合を展開しました。そして男女ともに優勝を勝ち取りました。また、駅伝でも男子が1位、女子が2位に入りました。そのほかの種目でも成城大学は優れた成績を残し、今年の四大戦は「やれば出来る」ことを実証する結果となりました。



2位に2分以上差をつけて、1位でゴールした駅伝男子成城Aチーム加島君！
万年4位からジャンプアップ！

「勢い」で頑張ろう

私の専門分野の放送史と放送局勤務の経験から言えることをひとつ挙げますと、現場の「勢い」が放送事業にも放送番組にも影響するということです。どんなに優秀なスタッフが揃っていても意思疎通が欠き何かをやり遂げるという共通の意識がないと、番組は精彩がなく長続きしません。逆にたとえスタッフの能力が若干不足していてもみんなが共通の目標に向かって情熱を傾けると、画面には活力が滲み出てきます。放送界ではこれを「勢いがある」と表現しています。

現在の成城大学は、スポーツでも学業でも「勢い」が出てきたように思えます。この勢いに乗ることが大切です。なぜなら格言が言うように「幸運の女神は頭の後ろが禿げている」、つまり幸運は来たときに掴まなければ去ってからは捉えられないのです。私には今がそのような時期のように思えるのです。

諸君、今年の「勢い」に乗って来年の四大戦ではさらに上位を目指しましょう。諸君にはそれが出来るのです。



グリーンキャンブ部 (www.geocities.jp/greencampclub/)

Honolulu Century Ride 2005 完走!

2005年9月25日に、ホノルル(米国)で開催された“Honolulu Century Ride 2005”において、グリーンキャンブ部の佐々木純(文3D)・塚原雄太(経3E)がMTB(マウンテンバイク)で、75マイル(約120km)に挑みました。この競技



最後の難所ダイヤモンドヘッドを越えるとゴールだ!



夜明けと共に、約3700人が一斉にスタート

は各自目標マイル(20・25・50・75・100)を8時間以内に完走する(各地点に関門があり、指定時間内に通過しないとリタイヤとなります)という自転車の競技の1つです。当日は無風で気温は38℃。序盤、チェーンが切れてしまうトラブルや、また大会前からの怪我もあり鎮痛剤を投与しながらの走行でしたが、無事、共に走行時間約6時間18分で完走してきました。来年は100マイル(約160km)に挑戦し、MTBで完走したいと意気込んでいます。

グリーンキャンブ部は現在「自然に触れて自然の大きさを知る」をモットーに掲げ、自転車の大会にも今後、本格的に参戦して行く予定です。
副主将：塚原雄太(経3E)

第26回(2005年度)学長賞懸賞論文入賞者発表

学長賞懸賞論文は、本学学生諸君の勉学意欲を格段に振起することを目的として、1980年度から始められました。優秀作品と認められたものには、最優秀賞、優秀賞、奨励賞をそれぞれ贈り表彰してきました。

本年度は11編の応募があり、厳正な審査の結果、優秀賞2編・奨励賞2編が選出されました。表彰式は12月8日(木)に行われ、我妻学長より賞状および副賞が授与されました。

優秀賞

- 「なぜ増える、少年非行・少年犯罪 — システム不全により蔓延する少年の闇」
経済学部 4年A組 渋谷 雅仁
- 「なぜ増える、少年非行・少年犯罪 — 世に自分を生かすということ」
文芸学部 4年B組 杉本 彩乃

奨励賞

- 「なぜ増える、少年非行・少年犯罪 — 規範意識の低い子どもたち」 文芸学部 2年A組 武藤 那賀子
- 「科学技術の発展と倫理 — 高齢者末期医療における延命措置と死の倫理の獲得」 短期大学部 2年A組 藤田 可奈子



表彰式後に記念撮影

平成17年度 学生活動奨励賞(学生部長賞)受賞者決定!

「学生活動奨励賞」は、公認団体・サークルを問わず文化活動・体育活動で活発な活動を行っている団体・個人(四大戦一般種目の優勝者も含む)また、ボランティアや芸術・学術等の文化活動で功績を上げた団体・個人を対象に授与することにより、学内のさらなる活性化を図ることを目的としたものです。

今年度は下記のとおり決定し、12月13日(火)記念講堂で開催の体連総会において上野学生部長より、表彰状と副賞が授与されました。

《第56回四大学運動競技大会》

- 一般種目優勝「硬式庭球男子ダブルス」：青木 陽介(経3)・遠藤 由裕(法2) ペア
- 「男子バレーボール」：チーム「ティモンズ」
- 「女子バレーボール」：チーム「ティモンズ」

正式種目「駅伝女子」区間賞：津田佳奈美(文3)・荘田 由紀(文4)・小澤 誠子(文4)

正式種目「駅伝男子」区間賞：外木 悠太(経1)・内田 晃史(経3)

第44回 成城レガッタ 開催



去る12月4日(日)寒空の中、埼玉県戸田オリンピックボートコースにおいて、体育部連合会・漕艇部主催「第44回成城レガッタ」が開催されました。例年多くの学生諸君が参加していますが、今年度は26チームが出場。男子・女子・混合に分かれて優勝を競いました。午後からは小雨降る中での準決勝・決勝でしたが、寒さに負けない熱戦が繰り広げられました。

表彰式では、我妻学長より賞状ならびに副賞が下記のチームに授与されました。

～入賞チーム～

種目	優勝	準優勝	3位
男子	成城ボケホントス (放送部)	体脂肪 (ラグビー部)	古美術 (古美術研究会)
混合	ジェダイマスター (生物部)	流れ作業が苦手な黒夢ファン (ライフセービング部)	オカシガスキスガシカオ号 (ワンダーフォーゲル部)
女子	マッスルス (女子テニス部)	トドチャンス (女子バスケットボール部)	ティモンズガールズ (バレーボールサークル)



「昼休みの恒例エルゴ大会」
ボート漕ぎの練習機で、仮想200mのタイムを競います。
女子エルゴ優勝者は、生物部のサンタさん。生物部は、混合でも優勝しました。



コックスの声に合わせて漕ぐ。
回数を重ねる毎に漕ぐのが上手になります。クラスの友達同士でもエントリーできます。



はじめての人でも大丈夫！
ボート部員が優しく教えてくれます。スタートラインまで行く間に、漕ぎ方を試行錯誤。

平成17年度体育部連合会秋季主な成績

合気道部	「全日本学生合気道競技大会」男子乱取団体戦 優勝 「全日本学生合気道競技大会」女子乱取団体戦 準優勝 女子演武対徒手 優勝
アメリカンフットボール部	「関東大学アメリカンフットボールリーグ戦」エリアリーグDブロック優勝 3部昇格
硬式庭球部(男子)	「関東大学テニスリーグ」5部優勝 4部昇格
サッカー部	「東京都リーグ」1部2位 関東リーグ参入戦出場
女子タッチフットボール部	「関東学生リーグ」優勝 「東西大学王座決定戦」出場 3位
男子バスケットボール部	「秋季リーグ」6部1位 5部昇格
男子バレーボール部	「秋季リーグ」6部昇格
バドミントン部(男子)	「秋季リーグ」5部昇格
男子ラクロス部	「関東学生リーグ戦」3部Cブロック優勝



証明書自動発行機を導入しました

利用の際は、
学生証・暗証番号の認証が必要となります。



音声ガイダンスに従って入力していけばいいので、簡単でしかも早い！

設置場所	1号館 1階事務室内		1号館学生ホール		
	稼働時間帯	月～金	8:30～18:00	月～土	8:30～20:00
		↑ 開講期間中			
土曜日		8:30～13:00			

※日曜・祝日、夏季一斉休業日、冬季休業日、大学の休日は稼働しませんが、授業実施日は稼働します。稼働スケジュールの詳細は、随時掲示します。
※1号館1階事務室の稼働時間帯は、事務室開室時間帯です。

利用手順

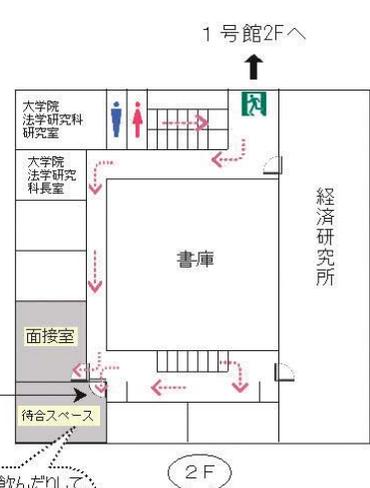
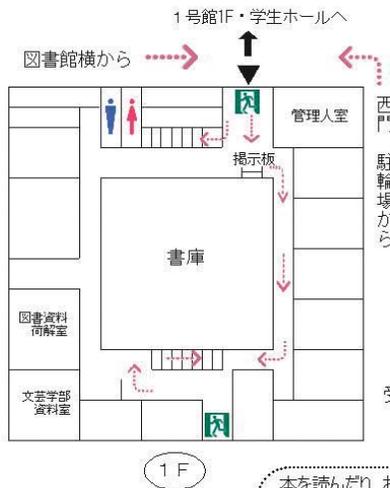
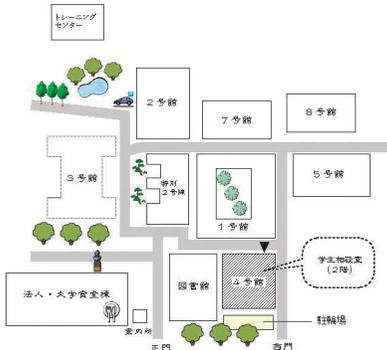
1. 学生証を証明書自動発行機に通す。
2. パスワードを入力する。
※初めて利用するとき、パスワードを設定します。
3. 発行する証明書・申請書を選択し、発行部数を入力する。
4. 表示金額を入金する。
5. 証明書・申請書を取り出す。

注意事項

- ・エラーが発生した場合は、教務部まで申し出てください。
ただし、学生ホールに設置の発行機については、事務室閉室後のエラーは翌日の対応となります。
- ・健康診断を受けていない学生は、健康診断書が発行されません。
- ・メンテナンス・故障等により証明書自動発行機を停止することがあります。
- ・発行機で申請書を発行し、事務窓口で申請・交付する証明書等もあります。(右表参照)
- ・短期大学の学生は、申請書による窓口発行となります。(右表参照)

→ 学生相談室が移転しました →

4号館の2階です。
地図を辿って気軽に来室して下さい。



本を読んだり、お茶を飲んだりして、くつろげるスペースもあります。気軽にご利用ください！

証明書・申請書の種類	金額	メニューボタン	手続き	発行までの日数等
JR学割証 <small>※短期大学 部生は、学生部の窓口で申請その場で発行</small>	—	JR学割証発行	発行機で直接発行	発行機で即時発行 (年間10枚)
在学証明書 <small>※日本学生支援機構(奨学金)等の指定用紙への在学証明は「特殊証明書申請」の「特殊和文証明書」で申請。</small>	200円	証明書発行	発行機で直接発行	発行機で即時発行
健康診断書	200円			
成績証明書	200円			
成績証明書(卒業修了見込付)	200円			
成績証明書〔履修中科目入〕	200円			
成績証明書〔履修中科目入〕(卒業修了見込付)	200円			
卒業見込証明書	200円			
修了見込証明書	200円			
教育職員免許状取得見込証明書	200円			
学芸員資格取得見込証明書	200円			
単位修得見込証明書	200円			
定期試験受験許可証	学生部 100円	申請書発行	申請書を各窓口へ	申請時に窓口で説明
学生証再発行	学生部 1,000円			
和文健康診断書申込	大学保健室 200円			
英文健康診断書申込	大学保健室 400円			
追試験再試験(1科目当たり)	教務部 学務課 1,000円			
成績表再発行	教務部 学務課 200円			
科目等履修生在籍証明書	教務部 教務課 200円			
科目等履修生履修証明書	教務部 教務課 200円			
聴講生在籍証明書	教務部 教務課 200円			
パスワード再々発行	メディアネットワーク部 1,000円			
学長推薦状	就職部 100円			
英文在学証明書	400円	特殊証明書申請	申請書を教務部 学務課窓口へ	英文証明書:10日後 →出来次第電話連絡
英文成績証明書	400円			
英文成績証明書〔履修中科目入〕	400円			
英文卒業見込証明書	400円			
英文修了見込証明書	400円			
英文単位取修得見込証明書	400円			
特殊和文証明書	200円			
特殊英文証明書	400円			
成績証明書	200円	卒業(修了)確定者 証明書予約申請	(22頁参照)	卒業後4月以降の申請 和文証明書:30分後 英文証明書:10日後 →出来次第電話連絡
卒業証明書	200円			
修了証明書	200円			
英文成績証明書	400円			
英文卒業証明書	400円			
英文修了証明書	400円			

※短期大学 部生の各種証明書は「特殊証明書申請」の「特殊和文証明書」で申請。
 但し、健康診断書は「申請書発行」で申請。
 *申請書を窓口へ→1時間後発行
 但し、月～金曜日:15時30分以降→翌日発行
 土曜日:12時以降→月曜日発行

※特殊な証明書は、発行まで日数がかかります。
 ※証明書・申請書の内容で、発行できなくなる期間があります。
 ※厳封希望の場合は、教務部学務課に申し出て下さい。



教務部

卒業確定者の発表について

大学及び短期大学の卒業確定者の発表は、以下のとおり掲示にて行います。

日 時	経済学部	2月23日(木)	午前10時
	文芸学部	2月24日(金)	午前10時
	法学部	2月24日(金)	午前10時
	短期大学部	2月23日(木)	午前10時
	(含専攻科)		

場 所 1号館学生ホール内掲示板

※掲示発表に氏名のない学生は、学生証を持参の上、教務部学務課で必要な指示を受けてください。

進級確定者の発表について

大学進級確定者の発表は、以下のとおり掲示にて行います。

日 時	経済学部	3月11日(土)	午前10時
	文芸学部	3月13日(月)	午前10時
	法学部	3月14日(火)	午前10時

場 所 1号館学生ホール内掲示板

※掲示発表に氏名のない学生は、学生証を持参の上、教務部学務課で必要な指示を受けてください。

平成17年度成績表送付について

～教務部学務課・学生部～

今年度成績表は、平成17年度卒業確定者には、3月23日の卒業式当日に各担任等から手渡します。来年度も在学する学生には、3月14日(火)現在で学生部に届け出のなされている本人の住所宛に3月31日に発送します。

住所変更を届け出ていないと成績表があなたの手元に届かないこととなりますので、現在、大学に届け出ている本人・保護者の住所、電話番号などに変更が生じた場合は、速やかに学生部窓口にて手続きをしてください。

なお、3月15日以降に転居する予定がある場合は、学生部に申し出てください。成績表は、送付せずに4月6日から教務部学務課窓口で配布します。その際は、学生証が必要です。

平成18年度Web登録の実施について

平成18年度から、全学部・全学年の履修登録はすべてWeb上で行います。Web登録には、Campus SquareのID・パスワードが必要となります。

まだ、IDを取得していない学生は早急に8号館メディア・ネットワーク・センターで手続きをしてください。

平成18年度

開講日および履修の手引き・シラバスの配布について

■開講日 4月11日(火)

配布期間：4月4日(火)～10日(月)
午前9時～午後4時

配布場所：大学7号館1階教室

受け取る際には、学生証が必要です。

平成17年度 卒業・修了確定者の証明書発行について

平成17年度卒業・修了確定者の証明書(卒業・修了・成績)発行について、申込日時・交付希望日によって手続き方法が異なりますので、希望者は以下に従って手続きを行って下さい。

1. 卒業式・学位記授与式(3月23日)当日に証明書交付を希望する場合

※申 込 期 間：上記の卒業確定者発表日～3月22日(水)午後4時30分まで

※申込方法等：自動発行機の「卒業(修了)確定者証明書予約申請」で証明書交付願(予約票)を発行し、卒業式当日、教務部学務課にその予約票を提出し、証明書を受領する。但し、各種英文証明書を予約申込した場合、必ず教務部学務課で手続きをして下さい。

2. 卒業式当日(3月23日)～3月31日(金)までに申請した場合(翌日交付)

※申込方法等：自動発行機の卒業生・一般用画面で申込書を発行し、その申込書に必要事項を記入のうえ、教務部学務課に提出、受取をもらい、翌日に受取を教務部学務課に提出し、証明書を受領する。なお、申込時は本人確認の証明書(学生証等)が必要です。

3. 4月1日(金)以降に申請する場合

※申込方法等：卒業式以降と同じ、但し、交付は当日行います。

注1) 短期大学部生の場合 1.は自動発行機の「特殊証明書申請」で申込書を発行し、その申込書を教務部学務課に提出、受取をもらい、卒業式当日、教務部学務課にその受取を提出し、証明書を受領する。2.3.は上記と同じ。

注2) 英文証明書の場合、交付までに10日間かかります。

・卒業式・学位記授与式(3月23日)当日に英文証明書交付を希望する場合

3月16日までに手続きをして下さい。

・3月17日以降の手続きは、手続き日の10日後に英文証明書を交付します。

国際交流委員会
～国際交流室～

2006年度 派遣交換留学生募集

2006年度派遣交換留学生を下記により募集します。

交換留学先／募集人員：

アメリカ／ウィスコンシン大学・ミルウォーキー校 (UWM)	1名
フランス／マルク・ブロック大学 (UMB)	1名
ベルギー／ルーヴェン・カトリック大学 (KUL)	2名
イギリス／シェフィールド大学 (US)	2名

留学期間：2006年9月～2007年7月

応募書類配布開始：11月24日(木)

応募受付：2006年1月10日(火)～1月31日(火)

応募資格

UWM	大学学部生／TOEFL173点以上
UMB	大学院生・学部生／仏検2級一次試験合格以上 またはDELF A2以上

KUL 大学院生・学部生／TOEFL197点以上

US 大学院生・学部生／TOEFL213点以上またはIELTS6.0以上
(但し、USでは学科別に受入許可のスコアが異なりますので、場合により事前英語研修の受講と修了試験で所要のスコアを得る必要があります。)

併願：英語受験の留学先 (UWM/KUL/US) は、志望順位をつけて可とします。

選考方法：書類審査 筆記試験 (英語・仏語) 面接

試験日：2006年2月14日(火) (予定) *時間・場所は追って通知します。

夏期アメリカ英語短期研修参加者募集(第一次募集)

研修主催：UTS国際教育センター

実施大学：アルバータ州立大学 (カナダ・エドモントン)

期間：2006年7月29日(土)～8月20日(日) [23日間]

単位認定：研修終了後、翌年度始めに履修登録すれば、研修終了試験の成績次第で前期の単位として認定されます。所属学部のシラバスを参照してください。

宿 舎：大学寮 (2週間) ホームステイ (1週間)

課外活動：カナディアンロッキー (2泊3日) 小旅行など
(費用に含まれています)

参加費用：545,000円

第一次募集人数：15名

(定員は計30名ですが第二次募集15名は原則として新入生対象)

最少催行人数：第一次、第二次募集計で15名

第一次応募締切：2006年1月16日(月)

春期中国語短期研修参加者募集 [国際交流関係]

研修主催：(株)毎日コミュニケーションズ海外事業部

実施大学：清華大学 (中国・北京)

期間：2006年2月19日(日)～3月12日(日) [21泊22日]

単位認定：研修終了後、翌年度始めに履修登録すれば、研修終了試験の成績次第で前期の単位として認定されます。所属学部のシラバスを参照してください。

参加費用：226,240円 (「成城大学提携教育ローン」の利用も可能です)

宿 舎：精華大学留学生宿舎 (1部屋) または近春楼招待所 (2人部屋)

課外活動：故宮博物院、万里の長城見学、京剧鑑賞など (費用に含まれています)

募集人数：学部生及び短期大学部生 計20名 (最少催行人数10名)

応募締切：2006年1月10日(火)

国際交流室に詳しいパンフレットがあります。

平成17年度学事・行事暦

12月20日(火)	文芸学部卒論提出締切	16:30
21日(水)	法学部卒論提出締切	16:30
23日(金)	祝日 (天皇誕生日)	
	通常授業日 (金曜日の授業)	
	振替授業日 (水曜日の振替授業日)	
24日(土)		
12月25日(日)	冬季事務休業	
～1月6日(金)		
1月7日(土)	授業開始：金曜日の振替授業	
11日(水)	短期大学部(含専攻科)卒業制作 提出締切	16:30
	経済学部卒論提出締切	16:30
13日(金)	後期授業終了	
16日(月)	学年末定期試験開始	
17日(火)		
1月21日(土)	大学入試センター試験	
～22日(日)		
30日(月)	学年末定期試験終了	
2月2日(木)	入学試験：短期大学部専攻科	
2月10日(金)	入学試験：社会イノベーション学部	
11日(土)	：文芸学部	
12日(日)	：経済学部	
13日(月)	：法学部	
2月23日(木)	卒業確定者発表	10:00
	経済学部/短期大学部 (含専攻科)	
2月24日(金)	卒業確定者発表	10:00
	文芸学部/法学部	
3月23日(木)	卒業式 於：五十周年記念講堂	
	大学	10:00
	短期大学部	11:30
	大学院学位記授与式 於：007教室	13:30

《サービス施設の年末年始等予定》

冬季閉館：12月25日(日)～1月6日(金)

図書館：1月7日(土)より平常通り

※冬休み貸出図書返却期限：1月14日(土)

※春休み貸出開始：1月28日(土)

トレーニングセンター

※1月7日(土)～4月10日(土)：10時～18時開館

オープブルーム：1月10日(火)より平常通り

※1月7日(土)は平日時間：9時～19時

《閉館日》

日曜・祝日、入試・卒業式・入学式当日

※詳細は、HP・掲示などで確認してください。



主な関係部署の電話番号

大学・短期大学部関係	教務部	教務課	03-3482-9045						
		学務課	03-3482-9054						
	学生部	学生課	03-3482-9081						
		学生相談室	03-3482-9086						
		大学保健室	03-3482-9085						
		トレーニングセンター	03-3482-5790						
		就職部	03-3482-9063						
		国際交流室	03-3482-9020						
		大学図書館	03-3482-3555						
		メディアネットワークセンター	03-3482-2165						
		総務課	03-3482-2101						
		管理課	03-3482-9239						
		入試広報部	03-3482-9100						
		経済学部	03-3482-9403						
		文芸学部	03-3482-9412						
		法学部	03-3482-9644						
		社会イノベーション学部	03-3482-9009						
		短期大学部	03-3482-9740						
	学	会	計	課	03-3482-1302				
園	管	財	課	03-3482-1409					
関	学	園	正	門	案	内	所	03-3482-1452	
係	伊	勢	原	総	合	カ	ラ	ト	0463-93-0771

卒業記念アルバム委員会からのお知らせ

すでに夏休み中に、アルバム申込案内および払込用紙がお手元に届いていると思います。申込は、その払込用紙にてお願いします。

紛失している場合は、1号館1階学生課事務室にて学生証を提示し、払込用紙を受け取って下さい。

なお、住所変更があった場合は、アルバムが届かなくなりますので、必ず学生部に届けてください。

よろしくお願いします。

個人写真の撮影をしていない方へ

この12月で、業者による個人撮影は終了しました。個人写真の撮影が出来なかった方は、個別に写真提出をしていただくと、卒業アルバムに掲載されます。正面上半身の写真（モノクロorカラー証明用4×3cm）の裏に、大学名・学部・学科・学籍番号・クラス番号・氏名を記入の上、直接アルバム業者に送付してください。

送付先：惠雅堂出版（担当：石橋氏）

〒162-0053 新宿区原町1-28

Tel：03-3203-4754

個人写真提出期限：2006年2月28日

※年内に届いた場合には各クラス名簿順に掲載されます。

※それ以降は、各クラス名簿の最後に掲載されます。

編集後記

●秋の二大イベント、四大学運動競技大会・大学祭も無事終了した。中庭に仮設建物が出るという大きな制約がある中で、変則的な開催となったが、いずれも成功裡に終えることができた。四大戦は、今年も最下位かと危ぶまれたが、大会当日の頑張りで大逆転を果たせたことは誠に嬉しい。特に駅伝の男子一位、女子二位は輝かしい結果で、ゴール前での佐藤君のスパート、大逆転は感動的でした。成城生の粘りと底力をあらためて頼もしく思った。来年も頑張ろう。文化祭も入場者延べ二万七千人を超える盛況であったとのこと。四大戦ともども実行委員及び関係者の方々に深謝する。大学祭でのミニ成城商店街の試みは好評で街の人々にも喜ばれたと言う。四大戦のポスターも快く貼っていただいた。今年は近隣からの苦情も一件も無かった。大学と街の人々の交流が動き始めている。こんな嬉しいことは無い。（学生部長 上野英二）

●キャンパス内は建築ラッシュ、在学生の皆さんにはご不便をお掛けしている。改修された1号館の教室の使い心地は如何か。新築8号館の使い勝手は？ 3号館も建て替え工事に入り、二年後には新校舎が竣工する。不便を被らないに越したことはないが、手狭なところをやりくりしての建物工事、ご理解をお願いしたい。ともあれ、年明けには学年末試験。準備总りの無いところとは思いますが、この季節心配なのは風邪。体調には十分気をつけて。（六）



～今号の表紙～

8号館特集ということで、いろんな角度から8号館を捉えてみました。青と白が基調になっていることが見えてきます。

撮影：下村みさ（学生部）

学生生活 209号

発行日 平成17年12月24日

編集・発行 成城大学・成城大学短期大学部 学生部
〒157-8511 世田谷区成城6-1-20

編集責任者 上野

編集 中村・山本・下村

印刷 株式会社 芳文社